Adways Business Report

For The Year Ended December 31, 2022

ADWAYS

株主の皆様へ

2022年12月期の業績と変化について

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年は、さまざまな要因により、国際情勢が変化し続けた1年でした。しかし、その一方で新型コロナウイルスの感染流行による行動制限が緩和され、日本へ訪れる外国人観光客が少しずつ戻るなど、明るい話題も多くあった年となりました。

このような環境の中、当社グループの業績は、取扱高は595億90百万円、営業利益は16億71百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は25億36百万円と、3期連続で過去最高取扱高を更新※することができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

2022年はさらなる成長 、事業価値の引き上げのため、経営基盤の強化を行いました。中でも、昨年11月に発表した「アドプラットフォーム事業に関する権利義務を、新設分割により新設する株式会社ADWAYS DEEEに承継する」という事項は、今後、当社グループの事業が継続的に成長し、世の中に価値を提供し続けるためにも、必要な変化の一つであると考えております。

この分社化に伴い、当社グループは組織形態を、これまでの機能別組織から事業部制組織に移行をいたしました。この変更は、専門性を融合・最大化させ、新たな事業価値を創造するために行ったものです。今後は、顧客・業界課題に一段と向き合える組織にシフトし、事業成果の最大化へと繋げてまいります。

現在、当社グループは、私たちが描く「企業のあるべき姿」に、着実に近づきつつあります。この数年間は、将来的な事業拡大に備えるための基盤を固めていた期間でしたが、3期連続で過去最高取扱高を更新※し、堅調に業績を伸ばすことができました。

2023年以降、私たちはさらなる成長のため、より積極的な「攻めの経営」を仕掛けていく予定です。この度、お知らせいたしました中期経営計画も、時宜にかなった発表になったと考えております。

当社グループの取り組みと指針についてご理解いただき、株主の皆様におかれましては、今後も変わりないご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※）2021年12月期は決算期の変更に伴い、国内会社の会計期間が9ヶ月間のため、会計期間を12ヶ月間に換算した場合の業績と比較しています。

代表取締役社長　山田 翔

2023年以降のさらなる成長に向けて

当社グループは、2001年の設立当初より、インターネット広告業界に軸足を置き、積み重ねてきたノウハウと最先端のテクノロジーを駆使し、事業の持続的成長を実現してまいりました。
また、当社グループはここ数年、さらなる成長とステークホルダーの皆様への価値提供に向け、事業基盤の強化や、本質的な経営を行うための、土台作りを続けておりました。
その上で、今後より統合的な視野で社会的責任を果たすためには、アドウェイズの存在意義や価値を見つめ直し、共通認識を掲げていく必要があると考え、この度当社グループの「パーパス」を制定いたしました。

全世界に「なにこれ すげー こんなのはじめて」を届け、すべての人の可能性をひろげる「人儲け」を実現する。

本パーパスは、これまで歩んできた歴史を振り返り、今後も大切に守っていきたい価値観を踏襲し、「アドウェイズのこれから」を実現するために生まれました。
当社グループは、これまでになかった“なにこれ すげー こんなのはじめて”を、多くの方々へ届け、また、すべての人が成長できる社会へ向け、事業を通じて本質的な価値を創造し、パーパスを実現してまいります。

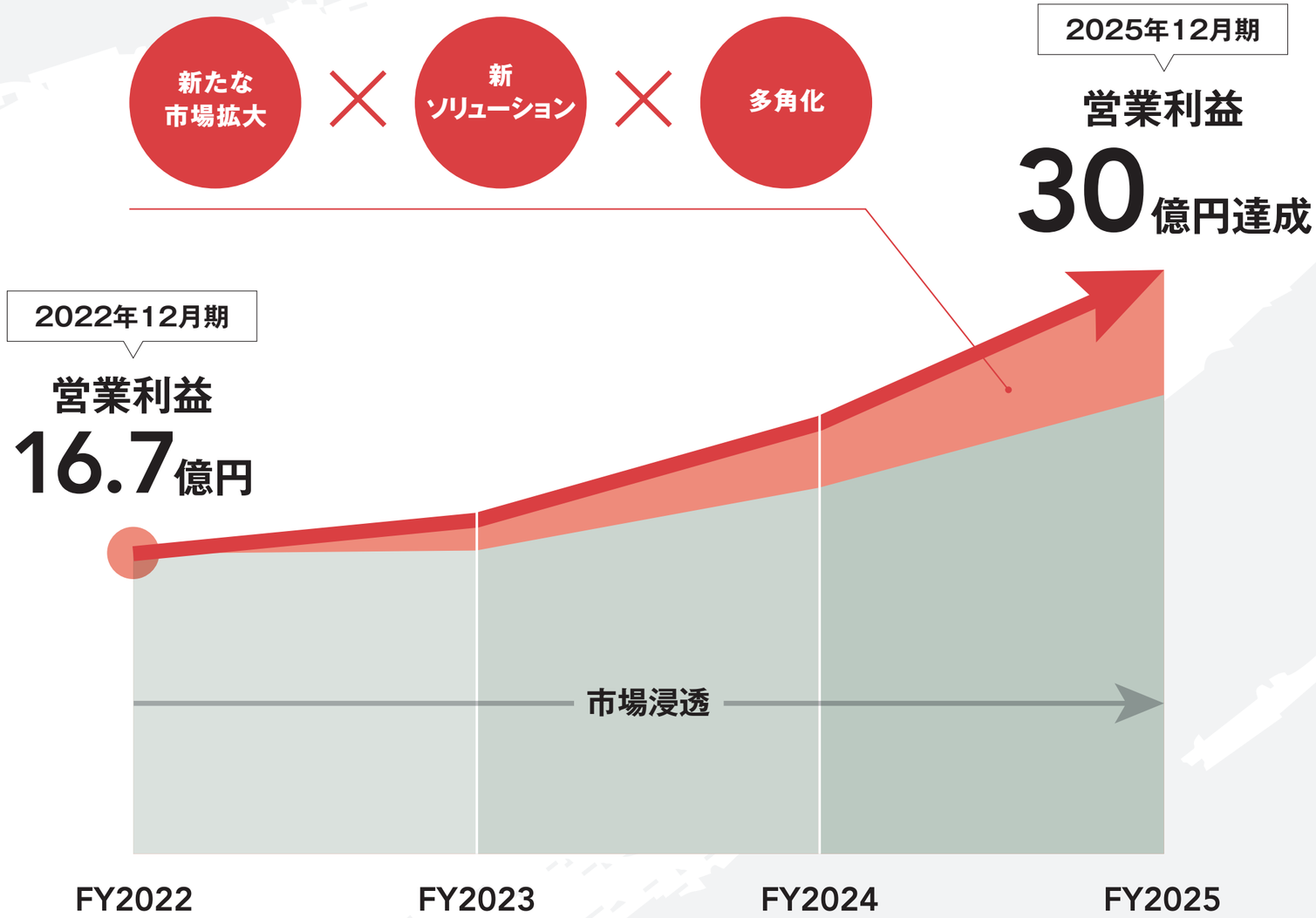
PURPOSE OF ADWAYS

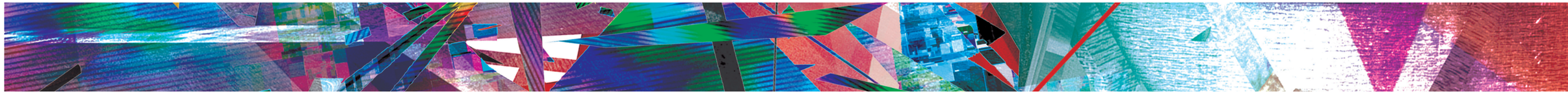
全世界に
「なにこれ すげー こんなのはじめて」
を届け、すべての人の可能性をひろげる
「人儲け」を実現する。

2023年12月期－2025年12月期
中期経営計画

当社グループは、「パーパス」の実現に向け、今後はより積極的な取り組みを促進してまいります。その決意を込め、2023年12月期から2025年12月期を「挑戦する3年」と位置付け、新たな中期経営計画を策定いたしました。
中でも、設立当初より手掛けてきたインターネット広告事業におきましては、広告に関わる全てのステークホルダーの成長実現を目指し、領域拡大を図っていくことに尽力いたします。
かつ、広告事業以外でも積極的な事業展開を行い、全世界に「なにこれ すげー こんなのはじめて」を届けてまいります。
また、当社グループで働く社員に対しても、持続的な挑戦が可能となる、本当に働きやすい環境の醸成に向け、新たな取り組みを加速いたします。そして私たちは、当社グループに関わるすべての方々の可能性をひろげる「人儲け」の実現に向け、尽力してまいります。

2025年12月期に営業利益30億円をめざす



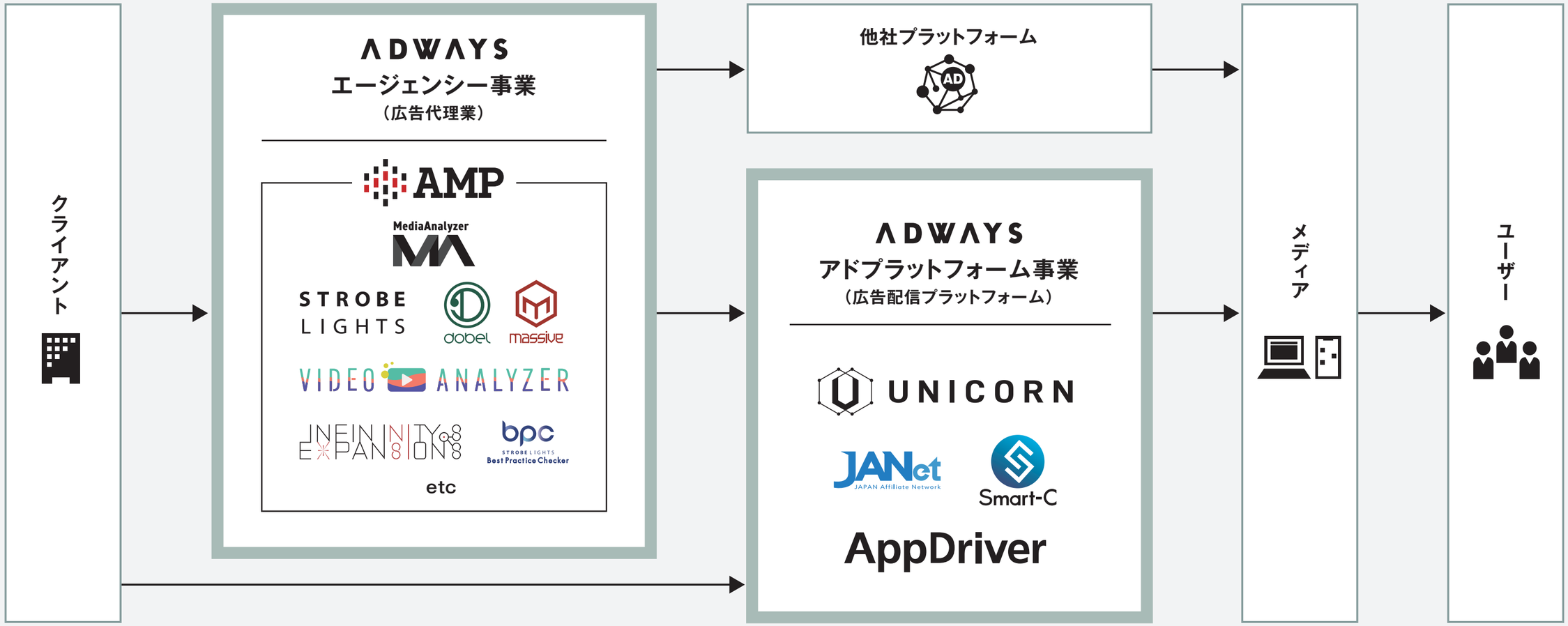


Business Overview 事業概況

当社グループで展開する広告事業

当社グループは、本質的な価値に向き合い事業を展開しています

当社グループでは、日々さまざまな業種のクライアントのデジタルマーケティングにおける課題と向き合い、
課題抽出と解決のため、幅広い事業に取り組んでおります。



エージェンシー事業（国内）

顧客の事業成長ドライバーとして、マーケティングDXを実現

エージェンシー事業では、オフライン＆オンラインの統合プランニングによる、包括的なマーケティング支援に取り組んでいます。
ナショナルクライアント（ブランド広告主）へのアプローチや、“テレビとデジタルの統合プランニング”による“フルチャネル※1”“フルファネル※2”を意識した、より効果的なマーケティングプランを実行するため、広告という枠組みに囚われず、マーケティングコンサルタントとして、あらゆる課題解決に取り組みます。また、「人」による高い運用力・創造力とAIを活用した高度な「マーケティングテクノロジー」を融合し、本質的な広告価値を生み出すことで、クライアントの事業成長を包括的かつ効率的に支援いたします。

※1）フルチャネル：集客するための媒体、経路などを広く活用する事
※2）フルファネル：消費者の商品に対する認知や検討、購入（利用）など多くの行動に対応する事

博報堂DYグループとの戦略的パートナーシップ
両グループのノウハウ、強みを掛け合わせ、より強固な協力体制を構築

Hakuhodo DY holdings
Hakuhodo DY media partners

テレビ×デジタルの統合プランニングや
マーケティング戦略設計に関するノウハウ

×

ADWAYS

運用力・クリエイティブ力・開発力

10年に及ぶアドウェイズの運用型広告支援の全てを統合した
次世代のデジタル広告最大化ソリューション「AMP（Amplify Marketing Program）」

AMP

運用型広告支援システム群を全て統合し
膨大なデータを融合した中枢システム

MediaAnalyzer

データの蓄積・可視化
媒体アルゴリズム分析
適切な運用方法解明

AIが広告最適化ポイントを検知

運用者が活用

AMPシリーズを活用した一連のスキームによって、
広告運用業務から“担当者依存”を排除し、
どのようなジャンルの案件でも、
誰もが高いレベルで広告の運用が可能に

運用者のパフォーマンスが向上

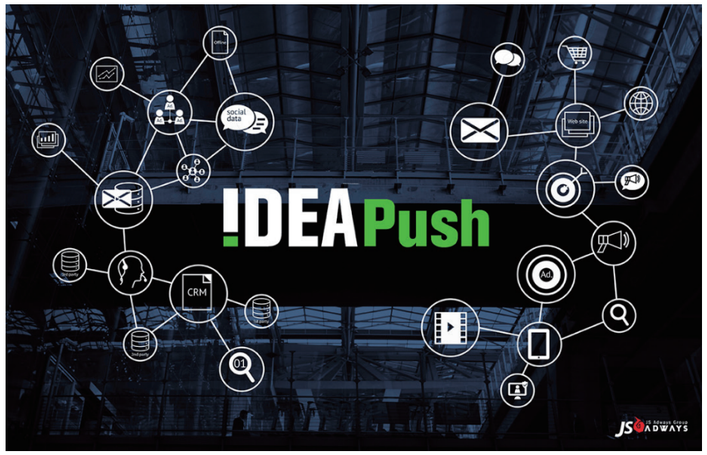
エージェンシー事業（海外）

国境を越えたマーケティング支援

当社グループでは、2003年の中国進出を皮切りにアジアを中心にグローバル展開を推進しています。
ナショナルクライアント（ブランド広告主）への包括的なデジタルマーケティング支援や、アプリ開発者へのアプリマーケティング支援からライブコマース事業、デジタルメディアやインフルエンサーなどのプランニング/運用、CRM※運営まで、クライアントのニーズに合わせ、他国展開も含めたクライアントの事業成長をデジタルマーケティングを通じて支援いたします。

※）CRM（Customer Relationship Management）：顧客との信頼関係を構築し、顧客と企業の相互利益の最大化を目指す経営手法の事

台湾



LINE公式アカウント内での広告配信支援ソリューション「IDEA Push」など独自ソリューション「IDEA Series」を展開

ブランド・ECクライアントへのLINE広告やLINE公式アカウントを活用した「IDEA Push」などLINE広告取扱高が好調に推移。
2021年に続き、2年連続でLINE台湾のダイヤモンドパートナー及び「The Best Sales Partner」に認定されています。

中国

伊藤忠商事子会社の伊藤忠繊維貿易（中国）有限公司、上海橙娯文化伝媒有限公司と中国ライブコマース事業合弁会社を2021年に設立

ライブコマースでの商品販売だけでなく、クライアントのブランドの価値を最大化すると共にライブコマースのデータや消費者ニーズに基づいて商品開発支援も行い、2022年12月期の取扱高は好調に推移しています。

OrangeStar

アドプラットフォーム事業 / UNICORN

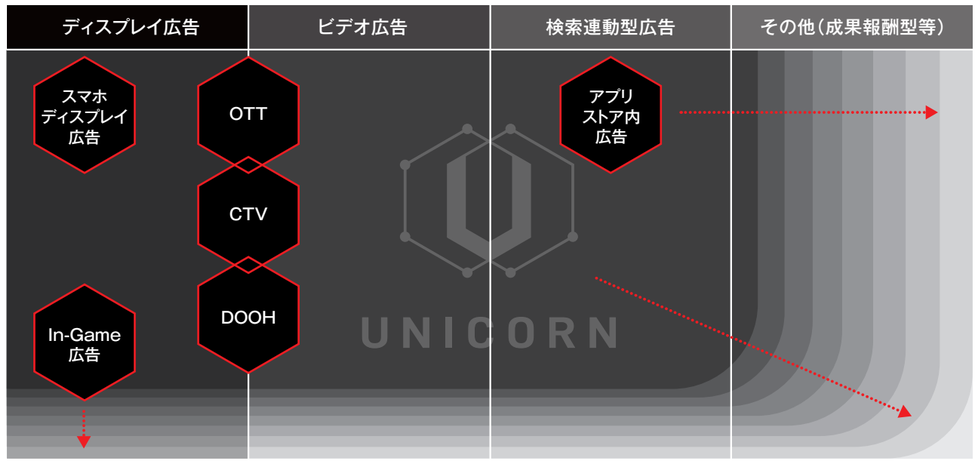
チャネル × 提供価値 × アカウントの3軸で立体的に拡大

全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」の2022年12月期第4四半期の取扱高は、1,713百万円となり、前年同期比で120%と過去最高を大きく更新。現在は当社グループの主力サービスとして成長を続けています。ゲーム、マンガ、VODの全てのジャンルの取扱高が伸長している他、ナショナルクライアント（ブランド広告主）を中心としたWeb領域の取扱高も大幅に増加し、当社グループの新たな柱となっていく見通しです。また、Apple Search Ads｜Todayタブ、検索タブ、検索結果、プロダクトページでの自動最適化配信に加え、コネクテッドTVやOTT※等のサービスと連携し、配信面においても拡大を続けています。UNICORNでは、クライアントのビジネス拡大を支援すると共に、ユーザーへセレンディピティのある出会いを提供し、ステークホルダー全方位に価値のある本質的な広告を実現してまいります。

※）OTT（Over The Top）：インターネット回線を通して行われるコンテンツ配信サービスの総称

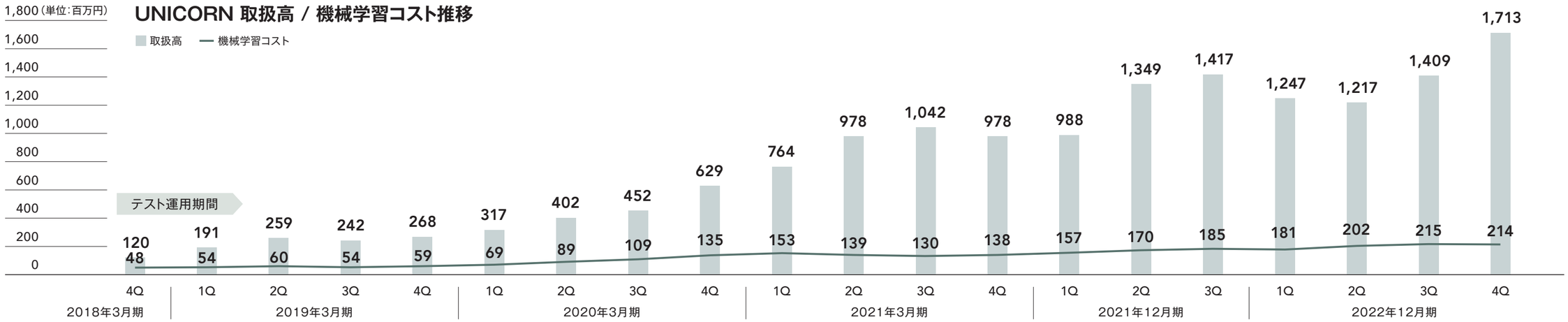
あらゆるチャネルでのユーザーコミュニケーションを実現

UNICORN 広告配信面



取扱高は前年同期比で120%となり、過去最高を大きく更新

UNICORN 取扱高 / 機械学習コスト推移



2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更いたしました。
そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

アドプラットフォーム事業 / ADWAYS DEEE

会社分割（簡易新設分割）による子会社「株式会社ADWAYS DEEE」設立

当社グループのアドプラットフォーム事業の中心であるアフィリエイトサービスでは、昨今、競争環境が厳しく、プロダクトの差別化、組織の強化が必須と考えております。アフィリエイトサービスはインターネット広告の中でも歴史が長いサービスとなっており、多種多様な機能がリリースされておりますが、変化が激しい業界の中で、クライアント及び提携メディアの抱えているニーズや課題に十分に対応できていないという課題がございました。

そのような課題に対し、いち早く対応、解決するには、経営判断および事業判断を迅速に行う事ができる子会社で事業を展開する事が必要だと判断し、2023年1月4日に、子会社「株式会社ADWAYS DEEE」を設立し、アフィリエイトサービス事業を継承いたしました。今後も当社グループでは、広告の価値を追求し、新しい広告表現や広告効果最大化などテクノロジーを駆使し、ステークホルダーの持続成長をサポートするプロダクトを提供してまいります。

ADWAYS DEEE 展開サービス

JANet
JAPAN Affiliate Network

Web領域に特化し、
最大級のネットワークを
保有したアフィリエイトサービス

Smart-C

アプリ領域に特化し、
最大級のネットワークを
保有したアフィリエイトサービス

AppDriver

エンゲージメント率向上と
広告収益を兼ねた
オファーウォール

**ADWAYS DEEEでは、
ステークホルダーの想像を超えた、喜びやワクワクを生み出し、
アフィリエイト広告を次の世代に進化させてまいります。**

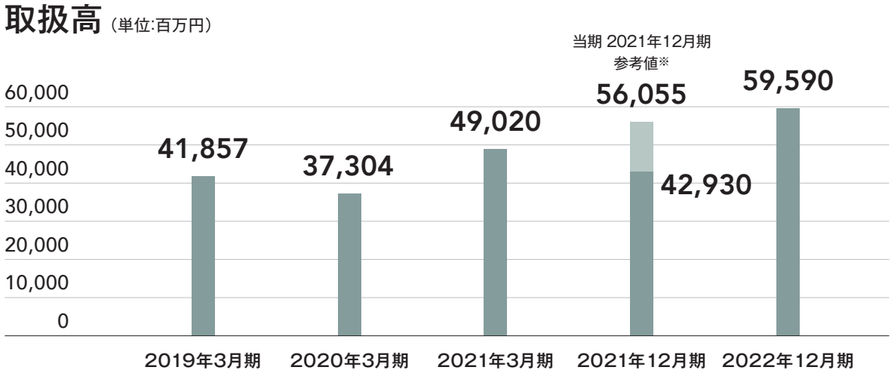
Financial Highlights

業績・財務ハイライト

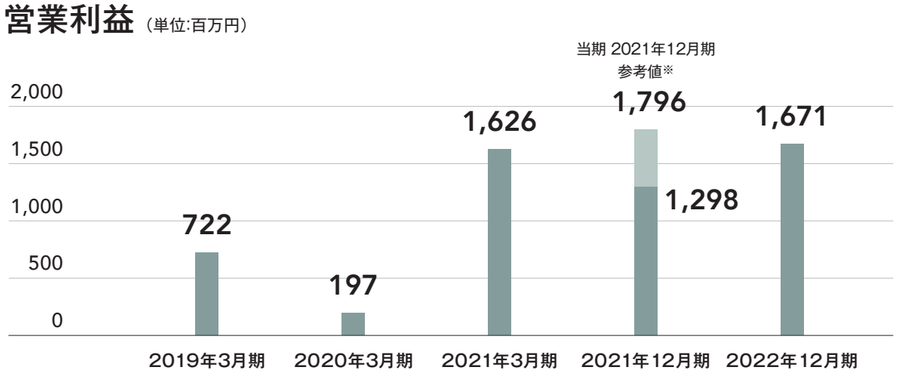
業績・財務ハイライト

連結損益計算書の概要	前期 2021年12月期 参考値※	当期 2022年12月期	参考増減率
取扱高（単位:百万円）	56,055	59,590	+6.3%
営業利益（単位:百万円）	1,796	1,671	▲7.0%
経常利益（単位:百万円）	2,227	1,506	▲32.4%
親会社株主に帰属する当期純利益（単位:百万円）	1,546	2,536	+64.1%
1株当たり当期純利益（単位:円）	—	63.49	—

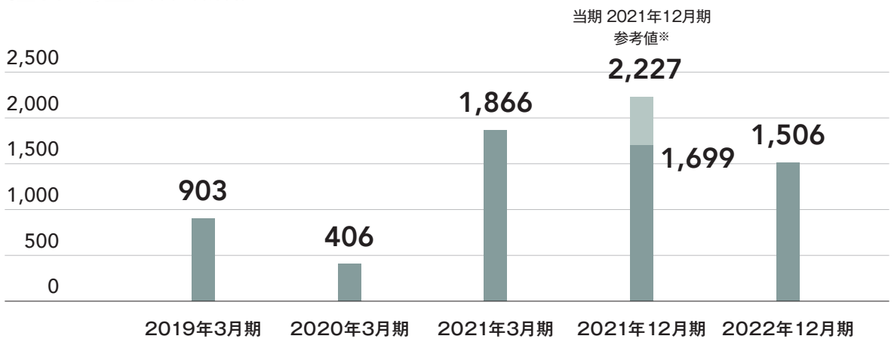
取扱高（単位:百万円）



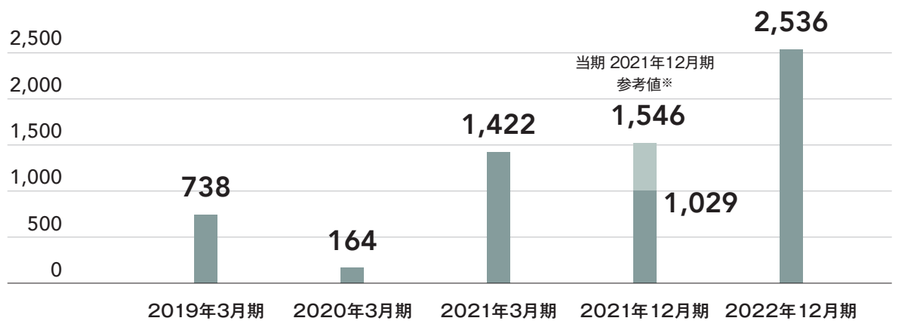
営業利益（単位:百万円）



経常利益（単位:百万円）



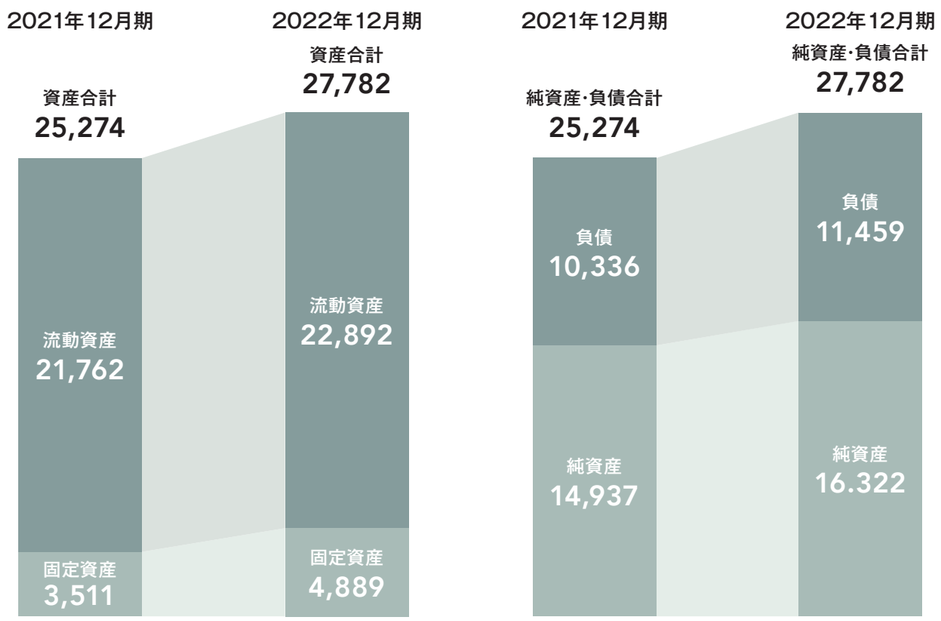
親会社株主に帰属する当期純利益（単位:百万円）



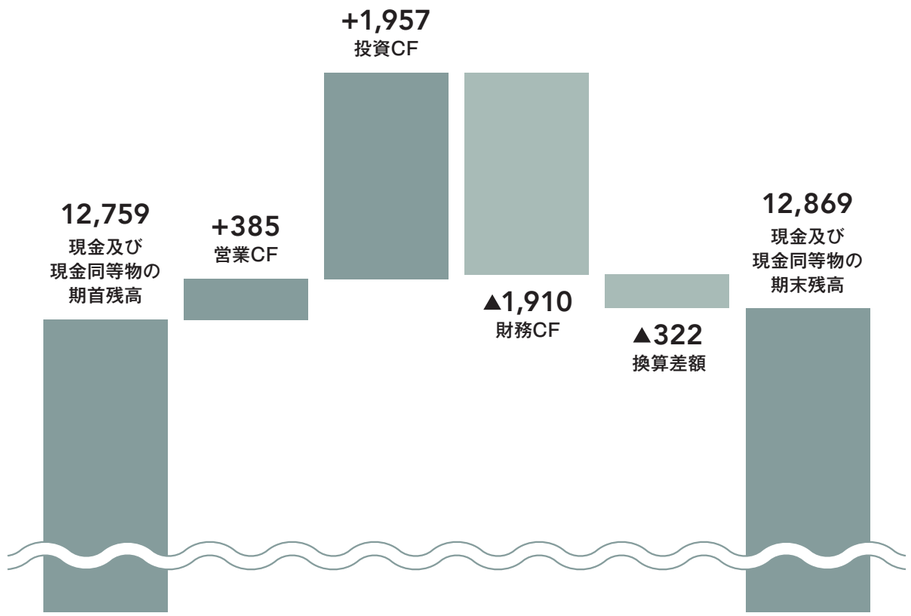
※）2021年12月期は決算期の変更に伴い、国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間となります。本資料では当期との比較のため、2021年12月期に2021年1月～3月の国内子会社の実績を加えた「2021年12月期（国内会社12ヶ月間）参考値」を記載しています。

業績・財務ハイライト

貸借対照表（単位:百万円）



キャッシュ・フローの概要（単位:百万円）



2023年12月期 業績予想（単位:百万円）

	取扱高（参考値）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する期純利益
2023年12月期業績予想	64,000	14,000	1,750	1,950	1,350
2022年12月期実績	59,590	13,415	1,671	1,506	2,536
増減率	+7.4%	+4.4%	+4.7%	+29.4%	▲46.8%

Stock Information

株式情報

株式情報

配当方針

3ヶ年（2021年12月期～2023年12月期）の配当方針

2021年12月期からの3ヶ年（2021年12月期～2023年12月期）の普通配当につきましては、第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向もしくは1株当たり配当金2円70銭を基準に毎期10銭を増配した1株当たり配当金のどちらか高い方を目途といたします。

ただし、大きな業績の変動や大規模なM&A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることにご留意ください。

第22期 2021年12月期	第23期 2022年12月期	第24期 2023年12月期
配当性向21% もしくは 1株当たり2円70銭 の高い方	配当性向22% もしくは 1株当たり2円80銭 の高い方	配当性向23% もしくは 1株当たり2円90銭 の高い方

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 （証券コード:2489）
決算日	12月31日（第22期から12月31日に変更）
定時株主総会	3月
売買単位	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-782-031（フリーダイヤル）
公告掲載方法	当社ホームページにおいて提供する。 ただし、やむを得ない事由により上記において提供できないときは、日本経済新聞に掲載する。

株式状況（2022年12月31日現在）

発行可能株式総数 ―― 153,150,000 株

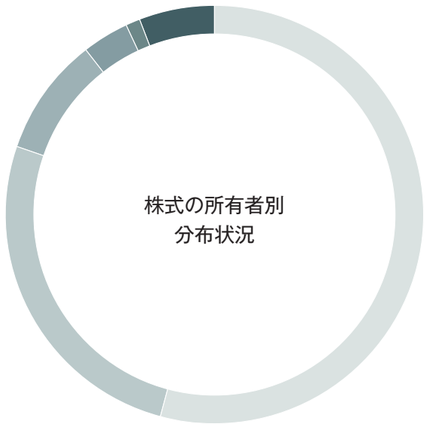
発行済株式の総数 ―― 42,003,700 株
（自己株式 2,394,980 株を含む）

株主数 ―― 16,905 名

大株主（上位10名）

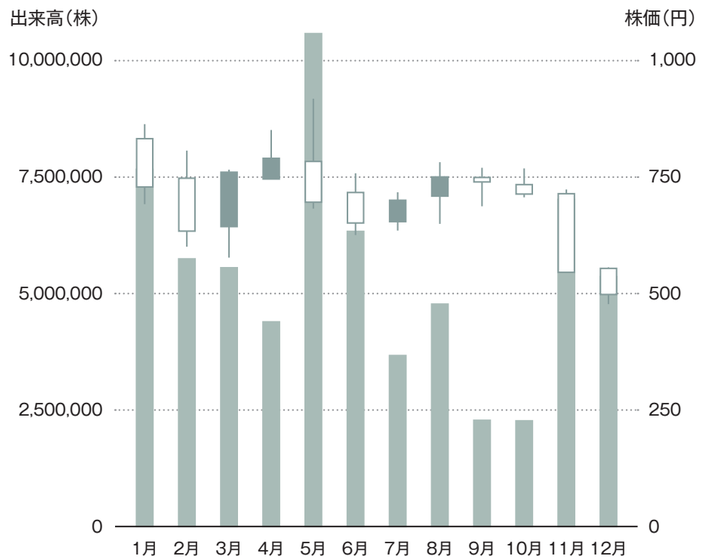
株主名	保有株式数（株）	保有比率（%）
岡村　陽久	8,149,300	20.57
伊藤忠商事株式会社	4,000,600	10.10
株式会社博報堂DYホールディングス	3,639,100	9.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,883,100	7.28
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	2,837,800	7.16
日本証券金融株式会社	470,900	1.19
松井証券株式会社	277,100	0.70
上田八木短資株式会社	248,400	0.63
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	205,100	0.52
株式会社SBI証券	194,842	0.49

※自己株式を除く



個人･その他	22,803,577株（54.31%）
その他国内法人	11,015,401株（26.20%）
金融機関	3,807,900株（9.07%）
証券会社	1,477,306株（3.52%）
外国法人等	504,536株（1.20%）
自己株式	2,394,980株（5.70%）

株価推移（2022年1月～2022年12月）



Company Information

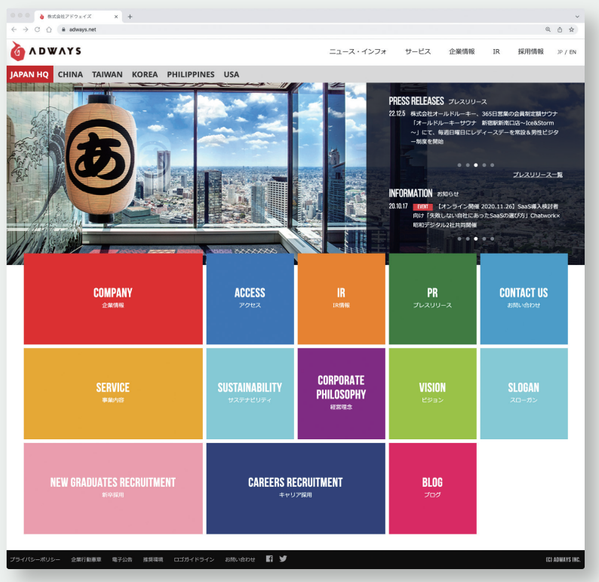
会社情報

会社概要

社　名	株式会社アドウェイズ
本社所在地	〒160-6138 東京都新宿区西新宿八丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー38階 TEL.03-5331-6308 / FAX.03-5331-6309
設　立	2001年2月28日
資本金	1,716百万円（2022年12月31日現在）
従業員数	1,124名（2022年12月31日現在）
事業内容	インターネット広告事業･関連事業

役　員（2023年3月23日現在）

代表取締役社長	山田 翔
取締役会長	岡村 陽久
取締役	野田 順義
取締役	鹿野 晋吾
取締役	中山 祐太
社外取締役	伊藤 浩孝
社外取締役	平田 和子
社外取締役	梅本 翔太
社外取締役	岡田 恵利子
常勤監査役	永久保 智宏
監査役	鵜川 正樹（公認会計士）
監査役	角田 智美（弁護士）
上席執行役員 インフルエンサー事業担当	西岡 明彦
上席執行役員 管理担当	田中 庸一
上席執行役員 アドプラットフォーム事業担当	田村 鷹正
執行役員 アドプラットフォーム事業担当	齋藤 弘樹



当社ウェブサイトのご紹介

最新のニュースリリースやIR情報などを掲載しています。
ぜひご覧ください。
https://www.adways.net/